

「畑わさび栽培を県南広域エリアに拡大作戦」展開中！ ～技術の普及定着に向けて試験圃場を設定し、研修会を実施～

1 はじめに

栽培の取組事例の少ない県南広域エリアへの畑わさび拡大を図るため、遠野農林振興センターでは、県南広域エリアに試験栽培圃場を設定し、その試験圃場を活用して現地研修会を開催したので、その内容を報告します。

2 設定した試験圃場とその活用

(1) 試験圃場の設定

栽培の展示と現地研修場所の確保を目的として、令和3年秋に地域経営推進費を活用し、試験地を2か所設定しました。

この試験地では、生育状況や収穫量の調査による畑わさびの栽培適性の実証を行うこととしています。

場所	面積	植栽時期
一関市大東	3.2 a	令和3年10月
奥州市前沢	0.8 a	令和3年10月



試験圃場（奥州市）の生育状況

(2) 現地研修会の開催

設定した試験圃場を活用し、新規栽培希望者等11名を対象として、一関市、奥州市で令和4年7月に栽培技術の普及定着を目的とした現地研修会を開催しました。



現地研修会の様子（一関市）

試験圃場を見学しながら、光環境の最適化や、施肥や病虫害防除などの栽培方法について説明しました。

遠野市以外の県南広域エリアで研修会を実施したことで、栽培の拡大が期待されます。

3 今後の取組

令和4年度は、令和3年度に設定した2か所に加え、県南広域エリア5か所に試験圃場の設置を予定しています。

引き続き、設定した試験圃場を活用し、現地研修会を開催するなど栽培技術の普及定着に向けた取組を進めていきます。